

コンクリート副資材の総合メーカー



Company Profile

『コン活をAgentechで支える伴走者』
を経営方針として、ユーザーニーズを追求し続けます。



代表取締役社長
小島 健

経営方針

『コン活をAgentechで支える伴走者』

コンクリート業界の活性化を ZAI 料で応援する会社

3つの Agentech（エージェンテック）

剤と材のプロフェッショナル技術

ZAI 料でコンクリートを元気にする技術

お客様に寄り添い業界に貢献する技術

求められる技を、形にする。

誰もが望んでいる形。社会が強く求めている技術。しかし、誰もが可能になるとは言いきれない目標を、私達は、進むべき道と決めています。コンクリート副資材の分野で、私達は、つねにオリジナルな製品開発に挑戦し、高度化する様々なニーズに応え続けてきました。

私達はこれからも、現場と開発をつなぐシステムを強化しながら、さらに大きな可能性に向かって進んでいきたいと考えています。

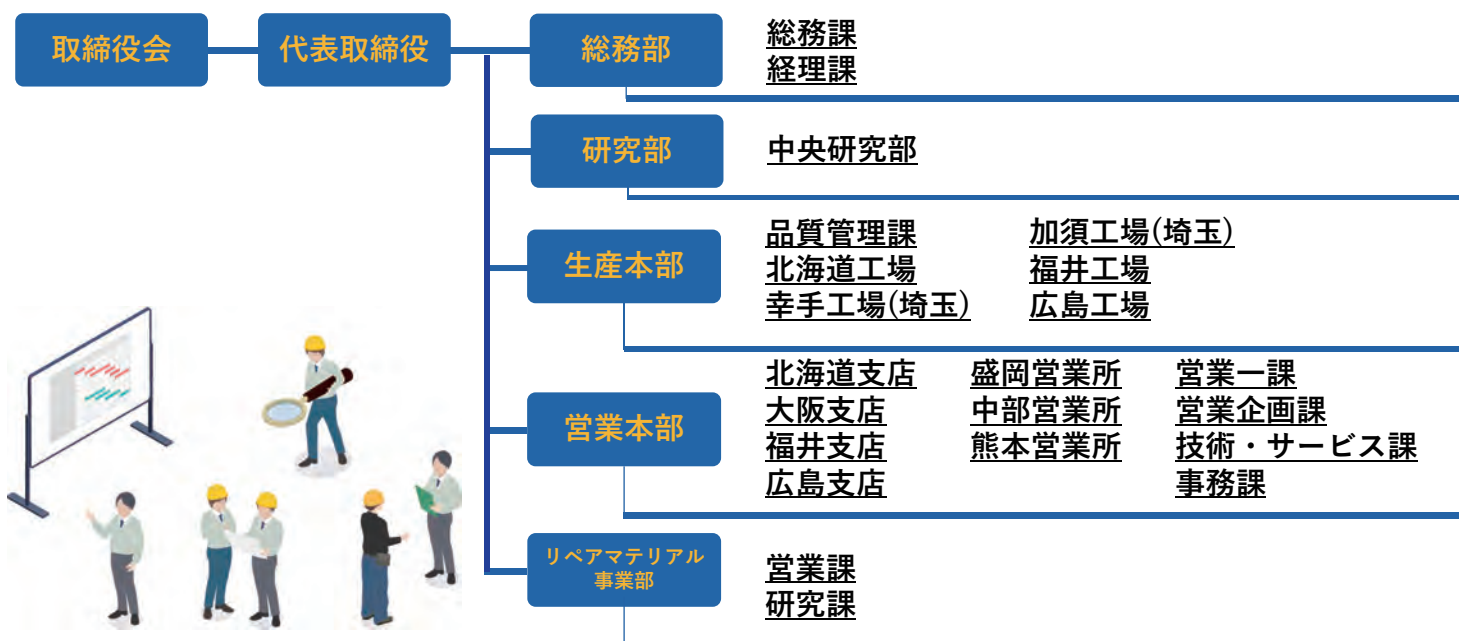
知識や技術も提供できるアドバイザーを目指して。

弊社は昭和 33 年の創業以来、コンクリート型枠離型剤の研究開発を地道に続けるとともに、お客様への迅速なサービス体制構築のため、日本各地に営業拠点と製造工場を設置してまいりました。近年ではコンクリートの分野以外に土木・建築現場への納入にも力を入れております。そしてさらに永年培った技術を生かしたアスファルト付着防止剤を新たに開発し、道路施工の現場向けにも各種製品の納入に力を入れており、創業以来たゆむことなく、力強く成長を続けております。おかげさまで弊社製品はお客様から厚く信頼され、日本国内のコンクリート二次製品工場のほとんどでご利用をいただき、さらには韓国、タイ、マレーシアなどへも輸出をするようになりました。私達は製品を販売するだけではなく、知識や技術も提供できるアドバイザーを目指し、常に難問に挑戦し続けてまいります。今後もお客様の多種多様なニーズにお応えできるように、研究開発及び技術革新に情熱を傾け、社会資本の整備に陰ながらお役に立ちたいと考えております。

商 号	信越産業株式会社
本社所在地	〒115-0045 東京都北区赤羽1丁目52番10号
創 業	昭和33年4月1日
資 本 金	9,500万円
従 業 員 数	85名（2026年4月1日現在）
事 業 内 容	1) コンクリート製品副材料の製造販売 2) 油脂化学製品の販売 3) コンクリート構造物補修材料の製造販売 4) 前各号に付帯する業務
役 員	代表取締役 小島 健 専務取締役 野崎 正則 常務取締役 山岸 茂樹 取 締 役 赤澤 公泰 取 締 役 三浦 良介 監 査 役 澤田 明久
取 引 銀 行	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行



組織図



有資格者

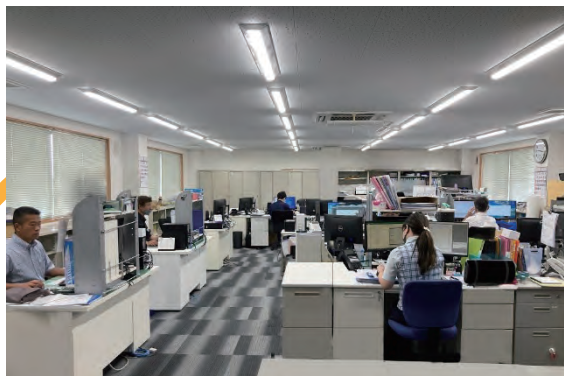
資格名称	保有者数
コンクリート診断士	8
コンクリート主任技士	8
コンクリート技士	40
危険物取扱(甲)	8
危険物取扱(乙)	73
消防設備士(甲)	1
消防設備士(乙)	1

(2026年4月1日現在)



03 当社の強み

製造・開発から販売まで自社一貫システムを構築



販売

全国9か所の販売拠点

全国どこでも
現場に訪問し
お客様の声を聴き
最適な御提案



研究開発

- ・ 新製品の開発
- ・ 製品の改善



製造・品質管理

全国5か所の製造拠点

- ・ 効率的な生産
- ・ 迅速な配送
- ・ 徹底した品質管理

04 製品

優れたコンクリート製品に欠かせない、信越産業の製品群。
“剥がす”を極め、さらに多様な課題を追求する。
それが、トップメーカーとしての使命です。



新設コンクリート構造物

プレキャストコンクリートなど、
新しく造るコンクリート構造物
向けの副資材

- ・離型剤
- ・養生剤
- ・凝結遅延剤
- ・鉄筋防錆剤
- ・鉄筋錆転換剤
- ・付着防止剤
- ・補修材(表面仕上げ) など



既設コンクリート構造物

橋やトンネルなど、
既存のコンクリート構造物
を維持補修するための工法と材料

- ・断面修復材
- ・吸水調整材
- ・エポキシプライマー
- ・鉄筋用防錆材
- ・鉄筋用錆転換プライマー
- ・凝結促進材
- ・ひび割れ注入材
- ・ひび割れ充填材
- ・コンクリート表面含浸材
- ・剥落防止コーティング材
- ・湿式吹付けポンプ など



アスファルト舗装

アスファルト舗装施工現場や
アスファルト合材プラントなど
に向けた各種副資材

- ・付着防止剤
- ・除去剤
- ・養生剤（白舗装用） など



05 研究所

**より高品質に、より安全に、より経済的に-----
現場のニーズに応える研究・開発に大きな力を注いでいます。**

革新的な研究開発に取り組むプロジェクトチーム

研究所では、土木・建築分野でコンクリート製造に用いられる離型剤、補修材、混和剤、遅延剤、滑剤等の開発、改良に当たっています。この分野でのシェアはトップクラス。コンクリート製品工場のほとんどで、弊社の技術が活躍していることになります。それだけに、現場からの要求レベルは常に高いものがあります。その要求にいかに応えるか・・・、弊社は自らの目標水準を常に高度に多角的なものにおいています。また、近年土木・建築現場向けとして、防錆剤、養生剤、環境重視型水性離型剤等を中心に、研究開発に取り組み、時代のニーズに応えるべく、意欲的に技術投資・資本投資を展開しています。



ボーダレスな視点で取り組んでいます

常に新しい技術が誕生し、古いシステムが駆逐されていく現場の最先端のニーズに応えるために、研究陣の発想は柔軟性に富んでいます。今日正しかったものが、明日も正しいとは限らない。今日無駄といわれた技術にも、別の角度から光が当てられるかもしれません…。 “着ける”技術の研究が “剥がす”技術として結晶することもあります。離型剤の専門メーカーとしての矜持を保ちながら、しかし時にはまったく逆の立場からの研究も行いながら、常に新しい角度、新しい分野からの新製品の開発を目指しています。



トップメーカーとして、常に先進の技術を追求しています

より理想的な製品を追求めるから、品質管理システムは進化する

成熟した市場を形成するわが国のコンクリート製品工場からの要求は、世界一高く、そのニーズに応えるためには、たゆまぬ製品のチェックがなされなければなりません。全製品について一日もかかさず実施されるサンプルチェック。比重動粘度、アステムカラー、有効成分等々が、常に厳しい監視のもとでコントロールされています。100年の時の流れに耐えるといわれるコンクリート素材が相手だけに、製品のクオリティーもまた一過性のものであってはなりません。採取されたサンプルについてはさらに最低3ヶ月間保存。ユーザーからの問い合わせやクレームに対しても、誠意と熱意を持って対応するというのが弊社の姿勢です。



北海道工場



幸手工場 (埼玉)



加須工場 (埼玉)



福井工場



広島工場



品質管理



製造

07 ネットワーク

現場のニーズをダイレクトにキャッチ。 1缶からコンテナまで迅速なデリバリーを可能にする 全国ネットワーク

すべてはお客様のために-----

全国に広がる支店・営業所・工場がお客様のご要望に責任を
もってお応えします。

事業所一覧はこちらから



日本から、世界へ。 From Japan to the world

国内全域はもとより、韓国、タイ、モンゴルほか、海外諸国へビジネスエリアは広がっています。
弊社はお客様のニーズがある限り、国境を越えてトータルサービスを提供して参ります。



08 歴史

挑戦を形にする-----

オリジナリティー豊かな技術集団の明日にご期待ください。



- | | | | |
|---------|---------|--------|------------------------|
| 1960 | 1958.4 | ● | 小島徹個人で創業 |
| | 1962.11 | ● | 信越産業合資会社 設立 |
| | 1969.6 | ● | 信越産業株式会社を設立し業務を引き継ぐ |
| | 1969.6 | ● | 広島支店開設 |
| 1970 | 1969.6 | ● | 埼玉工場竣工 |
| | 1975.5 | ● | 北海道支店を開設し北海道工場竣工 |
| | 1975.6 | ● | 研究所（旧大宮市）竣工 |
| | 1976.1 | ● | 大阪支店開設 |
| 1980 | 1979.4 | ● | 広島工場竣工 |
| | 1981.7 | ● | 盛岡営業所開設 |
| | 1985.8 | ● | 埼玉工場、幸手工業団地へ移転（現 幸手工場） |
| | 1987.7 | ● | 中央研究所移転（旧浦和市） |
| 1990 | 1987.10 | ● | 熊本営業所開設 |
| | 1988.3 | ● | 中部営業所開設 |
| | 1992.9 | ● | 福井支店開設 |
| | 1992.9 | ● | 福井工場竣工 |
| 2000 | 1995.12 | ● | 福井工場二期工事竣工 |
| | 1997.9 | ● | 小島健代表取締役役に就任 |
| | 2001.10 | ● | 福井工場補修材プラント増設 |
| | 2010 | 2006.4 | ● |
| 2010.9 | | ● | 北海道支店・工場を旭川工業団地へ拡張移転 |
| 2015.11 | | ● | 本社営業部棟を中央研究所ビル隣接地に竣工 |
| 2020 | | 2019.8 | ● |
| | 2020.1 | ● | 広島工場離型剤地下タンク設備増設 |
| | 2022.10 | ● | 加須工場竣工 |
| | 2023.4 | ● | リペアマテリアル事業部を新設 |



社員旅行や連続休暇取得制度など、福利厚生も充実。 豊富なシステムでサポートします。

社員の生活が充実してこそ、企業の成長も望める。

当社では、社員のオフを充実させるためのバックアップ体制を整えています。

そのひとつが連続休暇取得制度です。この制度は、入社2年目以降は夏季・年末年始の休暇のほかに、5日間連続で有給休暇（土日と合わせると最大9日連続の休暇）が取れるシステムです。

この制度を有効に利用して、海外旅行や日頃できなかった趣味などを満喫している社員がたくさんいます。それが信越産業の活力の源になっています。

また、社員旅行も実施。社員同士の親睦を図る良い機会となっています。



持続可能な社会に向けての取り組み

未来の環境のために今できること、
少しずつでも着実に取り組みを進めています。



製品用のドラム缶に再生ドラム缶を使用

再生ドラム缶を採用することで、新品を使用するよりもドラム缶製造に係るCO2を削減



業務のペーパーレス化

取り組むべき業務はまだ多く残っていますが、着実にペーパーレス化を進めています。



水溶性製品の製造販売

灯油などの油性製品に使用する原料を水溶性にすることで、温室効果ガスの排出量を削減



断面修復工法（材料）の製造販売

既設のコンクリート構造物を維持補修することにより延命化を図ると同時に新しく造る際に排出される温室効果ガスの量を抑制